



ZERO CARBON CITY TOKOROZAWA

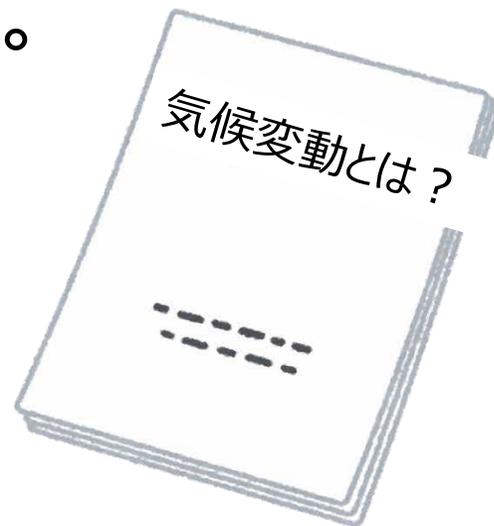


まちごとゼロカーボン市民会議（第2回）
2022年9月25日

市民会議（第1回）の振り返り

【市民会議の運営等】

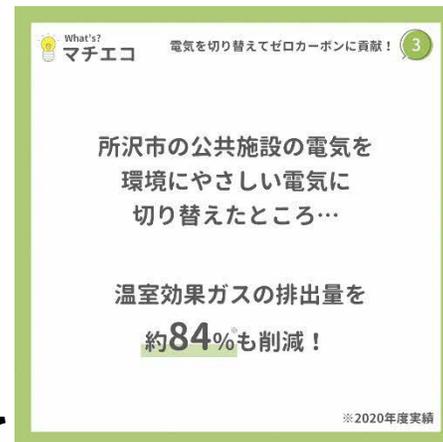
- とても暑かった。もう少し室内温度を低くして欲しい。
- 使用する紙の量が多い。
- 音声トラブルを改善して欲しい。
- 資料の何を使うか、先に説明があると良い。



市民会議（第1回）の振り返り

【普及啓発・情報発信】

- 気候変動のことを知ることは大事。
- 資料を目に触れる形で公開して欲しい。
- ゼロカーボンがかっこイイと発信を。
- 未来電力についてもっと知りたい。
- 市内の太陽光発電の効果を知りたい。
- カーボンフットプリントという概念を知ることができて良かった。



8月の発電量は、
メガが99,336kWh、フロートが31,555kWh

市民会議（第1回）の振り返り

【具体的な対策事例とその効果を知りたい】

- 気候変動への対策と効果を知りたい（カーボンフットプリントのアプリが欲しい）。
- さいたま市と比べて所沢市の排出量が多いのかが気になった。
- EV車への転換、カーシェア、その他を含めて優先順位を知りたい。
- 家庭が重要だと分かった。
- 気候変動対策の考え方（≡がまん）が変わった。

出典：国立環境研究所（2022年）
⇒追ってURLを皆さんにお送りします（<https://jibungoto-planet.jp>）



市民会議（第1回）の振り返り

【市民会議の目的・趣旨を再確認】

- 従来の選挙を介した間接民主主義は短期的な課題へのアプローチを得意とする。将来のことは**直接民主主義**での議論が重要（市長より）。

気候変動への対策は将来を考えること。将来世代を加えた直接民主主義で、『**将来のことを議論していくことが重要**』になる。

将来世代

猛暑日の増加



現役世代

台風の巨大化



【参加者の声】：一番被害を受けるのは、原因を作っていない人々（将来世代）だということ。

市民会議（第1回）の振り返り

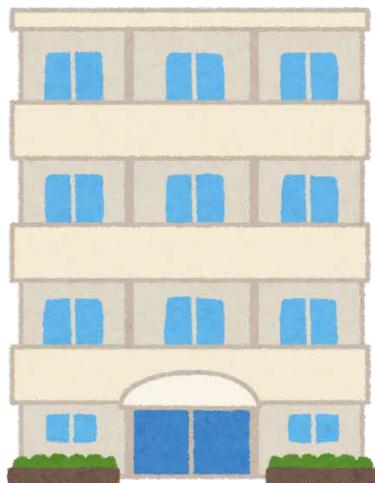
【地球、国、県、市、地区レベルで違いがある】

- 国際的な課題である気候変動を、地球レベルで理解しつつ、**対策は日常生活**から。

市・地区には『差異』があり、それを踏まえて『自分ごと』として考える

住まいからゼロカーボンを考える
(第3回)

戸建てとマンション
の違いは？



移動からゼロカーボンを考える
(第4回)



駅近と郊外の違いは？

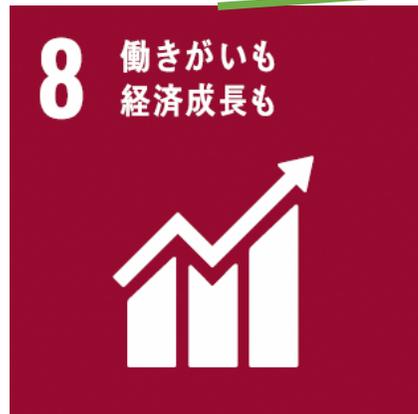


【参加者の声】： 市内の**地域差**も取り上げてほしい／未来に向けての前向きな取組についての理解がいまひとつだった。

市民会議（第1回）の振り返り

【気候変動への対策には副次的効果がある】

- 有機農業の推進は気候変動対策としての効果もある（相乗効果）。17のゴールで構成される持続可能な開発目標（SDGs）と関係する



【参加者の声】： 生活の質と温暖化は関係がある？ / 地産地消が温暖化対策につながる理由が分かった / ゼロカーボンを考えるときは表面だけを見てはいけない

市民会議（第1回）の振り返り

【当事者として考えることの重要性】

- 問題を自分事と捉える人が増えることは大事。
- 私生活でもとにかく取り組むことが大事。
- 当事者として取り組めることが多いと知った。実行していく。
- 自分に置き換えて考えることができた。
- 脱炭素アクションが面倒ではないか・・・。
- 目標を未達成のときの代償が理解されるべき。
- 気候変動対策に対する意識が国内と海外で大きく違うことが印象的。

【市民会議の意義・役割】

- 次回はより深い話をしたい。
- 幅広い年代の意見が聞けて良かった。
- 意見共有の時間が少なかった。

【その他】

- 目標達成は現状では困難。
- 所沢市がパイオニアであることがうれしい。
- 実際に改善していけば良くなる。
- 対策となるテクノロジーの情報が欲しい。
- 本当に実現できるか疑問が残った。

参加者一人ひとりが地球温暖化問題を自分事として捉え、議論することで、問題意識を共有すると共に、会議結果をマチごとエコタウン推進計画の改定及びゼロカーボンシティ実現に向けた施策に繋げること。

会議結果とは

- ・ 各回で出た意見
- ・ アンケート形式の投票結果



会議結果



環境審議会



計画改定
市の施策

環境審議会とは

市長の諮問（求め）に応じて、市の環境保全に関する基本的事項について調査及び審議を行う機関であり、委員は知識経験者、民間団体の代表者、市民等で構成されています。令和4年度から令和5年度に開催する環境審議会では、マチごとエコタウン推進計画の改定についてご議論いただいています。



今後の進め方

開催日時	テーマ	話題提供者（敬称略）
第1回目 (8月21日)	気候変動の現状と脱炭素の必要性	江守正多（東京大学/国立環境研究所）
	所沢市の脱炭素型ライフスタイル	小出瑠（国立環境研究所）
第2回目 (9月25日)	商品選択からゼロカーボンを考える	渡部厚志（地球環境戦略研究機関）、中ノ理子（イオン）、日橋忠洋（所沢市環境推進員）
	農・食からゼロカーボンを考える	横沢正幸（早稲田大学） 澁谷正則（OECマルシェ）
第3回目 (10月23日)	住まいからゼロカーボンを考える	外岡豊（埼玉大学） 上田マリノ（所沢市マチエコアンバサダー）
	エネルギーからゼロカーボンを考える	松原弘直（環境エネルギー政策研究所） 神藤年三（自治会役員、環境推進員）
第4回目 (11月27日)	移動からゼロカーボンを考える	松橋啓介（国立環境研究所） 井原雄人（早稲田大学）
	地域での連携からゼロカーボンを考える	島田幸子（環境パートナーシップ会議） 神谷一彦（県立所沢高校教諭）
第5回目 (12月18日)	里山の利用等/会議全体の振り返り/ゼロカーボンを実現する将来像	未定

- ゼロカーボン市民会議の目的・趣旨を共有
- 気候変動の現状と脱炭素化の重要性について理解を共有

- 個別・具体的テーマでゼロカーボンを考える（⇒近未来の日常生活の変化を見据えて）

- ゼロカーボンを実現する**将来像**を考える（⇒近未来の日常生活の変化を見据えて）

※普及啓発については、各テーマの中で議論

グループワークで大切にしたいこと

- ▶ 発言を遮らない、否定しない
- ▶ 発言は短く、簡潔に
- ▶ 話を聞くときは頷こう
- ▶ 発表したら拍手しよう
- ▶ 議論の場ではなく “対話の場” を意識しよう

議論で勝ち負けを決めるとか、意図のある結論に誘導するとか、異議を許さないということではなく、対等な人間関係の中で、お互いに尊重し合い、かつ何度も論点を往復しているうちに新しい視野が開け、何かが生まれること



本日のスケジュール

13:00	約10分	開会/司会から市民会議趣旨・目的説明/第1回目の振り返り
13:10	約10分	チェックイン（参加者の紹介）
13:20	約30分	グループワーク1『商品選択からゼロカーボンを考える』 話題提供
13:50	約10分	休憩
14:00	約60分	グループワーク1『商品選択からゼロカーボンを考える』 ワーク
15:05	約10分	休憩
15:15	約25分	グループワーク2『食・農からゼロカーボンを考える』 話題提供
15:40	約60分	グループワーク2『食・農からゼロカーボンを考える』 ワーク
16:40	約10分	チェックアウト ～閉会

前半

後半



自己紹介 & 近況共有

(約10分間)



ニックネーム	最近の良かった出来事
最近印象に残ったニュース	身近で感じる気候変動の影響

1. 用紙を4つ折り

2. 用紙に4つのことを書き込む

3. 用紙を使ってグループ内に共有

ニックネーム	最近の良かった出来事
最近印象に残ったニュース	身近で感じる気候変動の影響



グループワーク 1のテーマは

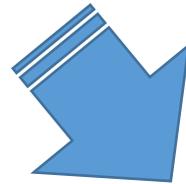
『商品選択から

ゼロカーボンを考える』



話題提供1～4

- 商品選択とカーボンフットプリント
- 商品の供給側から
- 使用者・消費者側から
- 行政の取組



グループワーク

- ゼロカーボンへのアイデアは？
- アイデアを実施する際の課題は？
- 課題への対策は？

地球環境戦略研究機関
渡部 厚志 氏

モノの購入・利用とCO₂



イオン 環境・社会貢献部
中ノ理子氏

商品での脱炭素の取組み



所沢市環境推進員

日橋 忠洋 氏

もったいない市
の取り組みについて



所沢市役所 資源循環推進課

山岡 翔

ごみ減量・CO2削減を考える



休憩

話題提供の整理

渡部さん：商品選択でカーボンフットプリントを減らすことができる

排出が多い段階	買い方、使い方、捨て方の工夫			
	排出量の少ない製品・サービスを選ぶ	使い方を工夫する	大切に長く使う (修理しやすいものを選ぶ)	リユース・リメイクする
材料	✓		✓	✓
加工	✓		✓	✓
輸送	✓		✓	✓
使用		✓		
廃棄			✓	✓

カーボンフットプリントを減らす買い方、使い方、捨て方

日常生活でできることは？

中ノさん：原材料の調達・商品調達でCO2排出の約70%・食品廃棄物/プラスチックを減らす

山岡さん：所沢市（市民）の特徴を踏まえた商品選択の重要性

日橋さん：地区レベルでの3R（スリーアール）への取組

グループワークのテーマは

『商品選択から ゼロカーボンを考える』

1. 取り組んだ方が
良いことは？

2. 取り組むにあたっての
課題は？

3. 課題への
対策について
意見交換

4. イチオシの
対策を共有



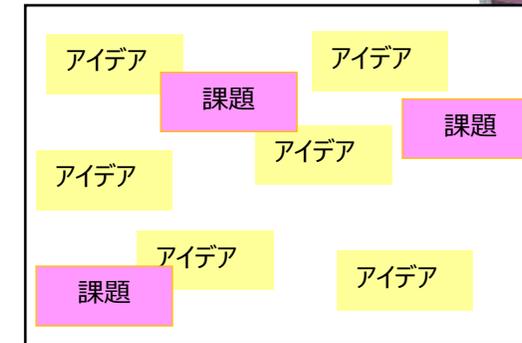
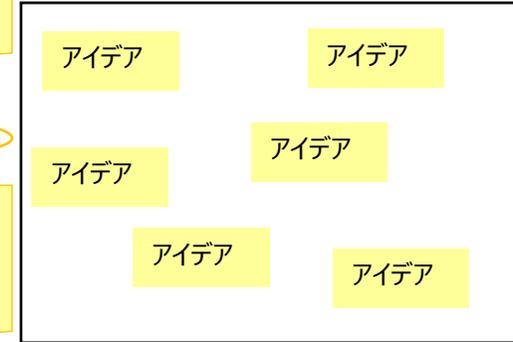
グループワークの作業手順

1. ゼロカーボンへのアイデアを考え・共有

個人ワーク
(アイデアを書く)

席の移動・模造紙を囲んで座る

グループワーク
(アイデアを共有)



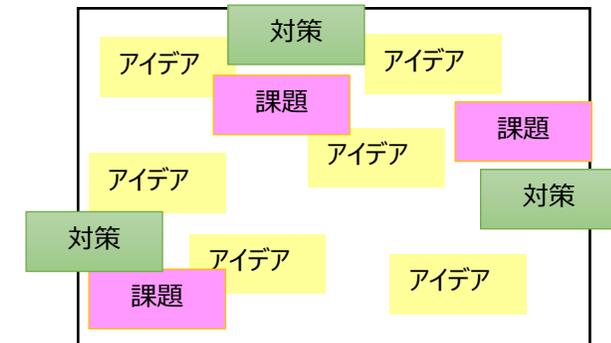
2. 取り組むにあたっての課題を考え・共有

個人ワーク
(課題を書く)

グループワーク
(課題を共有)

3. 課題への対策を考え・共有

グループワーク
(対策共有・協議)



4. 全体共有

アイデア・課題・対策をセットにして発表

『商品選択からゼロカーボンを考える』

1-1. 個人ワーク（約5分間）

どんなものを選ぶ？

ものをどう使う？

- 黄色のポストイットに「**取り組んだ方が良いこと**」を短文で書いてください。
- ポストイットには1つの取組を書いてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



1-2. グループワーク（約12分）

＜ここでイスを移動＞

- 「**取り組んだ方がよいこと**」を説明しながら、ポストイットを模造紙に貼ってください。

1. 取り組んだ方がよいことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



1-2. グループワーク（約3分）

- ポストイットを整理し、似ている内容のポストイットをグループにまとめてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



2-1. 個人ワーク（約5分間）

- 「取り組んだ方が良いこと」を実施する場合の「課題」を考え、**ピンクのポストイット**に書き込んでください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



2-2. グループワーク（約10分間）

- 「**課題**」を書き込んだピンクのポストイットをシェアしてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



3-1 & 3-2. 個人・グループワーク (約10分)

- 「課題」を克服するための方法（対策）を緑のポストイットに書いてください。意見交換を進め、「イチオシのアイデア」を選んでください

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



4. 全体共有（約10分）

- 模造紙のうち、「イチオシのアイデア」を、課題への対策を含めて共有ください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



地球環境戦略研究機関
渡部 厚志 氏



休憩

グループワーク 2のテーマは

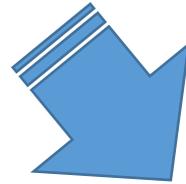
『農・食から

ゼロカーボンを考える』



話題提供1～3

- 農・食への気候変動の影響
- 市民からの話題
- 行政の取組



グループワーク

- ゼロカーボンへのアイデアは？
- アイデアを実施する際の課題は？
- 課題への対策は？

早稲田大学人間科学学術院

横沢 正幸 氏

農業・食に関する

影響・適応・緩和



OECマルシェ

澁谷 正則 氏

食と人とを笑顔でつなげる



所沢市役所 農業振興課

野島 博行

所沢市の農業



話題提供の整理

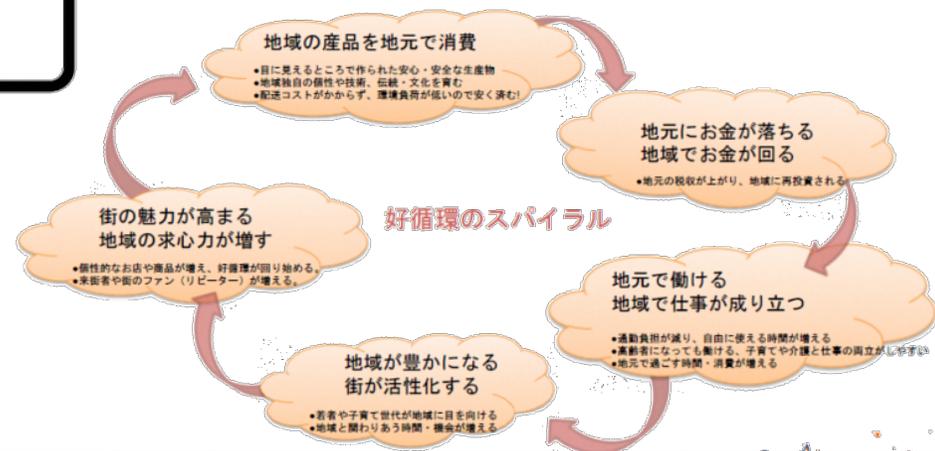
横沢先生から：気候変動による農業への影響は大きい。私たちには緩和と適応という対策がある。

野島さんから：地元の農産物の特徴/気候変動の影響/等

共につながり、地域を育てる。

影響評価 (将来予測)

品質の変化
収量の変化
(不作の発生頻度の変化)
生産量の変化
産地の移動



Ⅱ. 主要農産物

適応策

栽培期間の変更
品種の育成
施肥管理などの生産安定技術

緩和策

温室効果ガスの排出削減技術
吸収機能の向上技術

狭山茶	約1.16km ² 、2位
ほうれん草	約1.09km ² 、2位
さといも	約0.92km ² 、2位
にんじん	約0.74km ² 、1位

R2年 農林業センサス（農林水産省）順位は県内作付面積

横沢先生と澁谷さんから：対策には副次効果/相乗効果がある。

グループワークのテーマは

『農・食から

ゼロカーボンを考える』

1. 取り組んだ方が
良いことは？

2. 取り組むにあたっての
課題は？

3. 課題への
対策について
意見交換

4. イチオシの
対策を共有



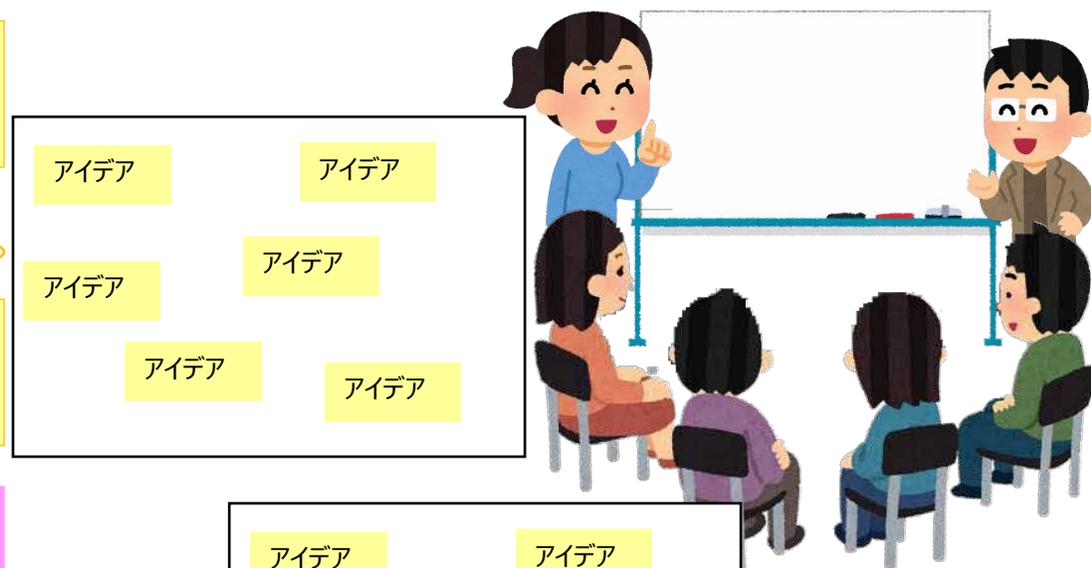
グループワークの作業手順

1. ゼロカーボンへのアイデアを考え・共有

個人ワーク
(アイデアを書く)

席の移動・模造紙を囲んで座る

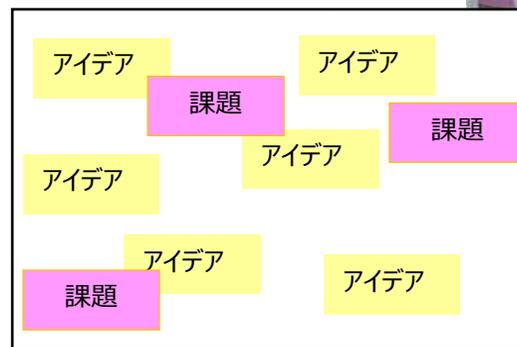
グループワーク
(アイデアを共有)



2. 取り組むにあたっての課題を考え・共有

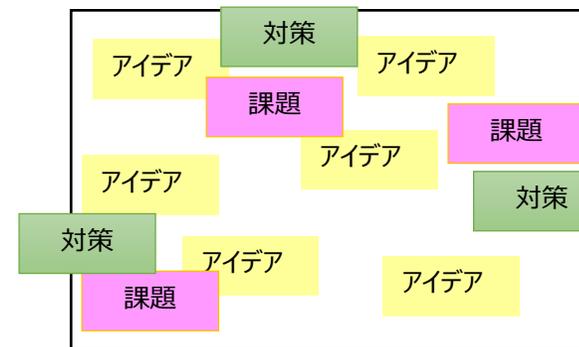
個人ワーク
(課題を書く)

グループワーク
(課題を共有)



3. 課題への対策を考え・共有

グループワーク
(対策共有・協議)



4. 全体共有

アイデア・課題・対策をセットにして発表

1-1. 個人ワーク（約5分間）

どんなものを選ぶ？

生活をどう変える？

- 黄色のポストイットに「**取り組んだ方が良いこと**」を短文で書いてください。
- ポストイットには1つの取組を書いてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



1-2. グループワーク（約10分）

＜ここでイスを移動＞

- 「**取り組んだ方がよいこと**」を説明しながら、ポストイットを模造紙に貼ってください。

1. 取り組んだ方がよいことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



1-2. グループワーク（約5分）

- ポストイットを整理し、似ている内容のポストイットをグループにまとめてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



2-1. 個人ワーク（約5分間）

- 「取り組んだ方がよいこと」を実施する場合の「**課題**」を考え、**ピンクのポストイット**に書き込んでください。

1. 取り組んだ方がよいことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



2-2. グループワーク（約7分間）

- 「**課題**」を書き込んだピンクのポストイットをシェアしてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



3-1 & 3-2. 個人・グループワーク (約10分)

- 「課題」を克服するための方法（対策）を緑のポストイットに書いてください。意見交換を進め、「イチオシのアイデア」を選んでください

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



4. 全体共有（約10分）

- 模造紙のうち、「イチオシのアイデア」を、課題への対策を含めて共有ください。

1. 取り組んだ方がよいことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



早稲田大学人間科学学術院

横沢 正幸 氏



マチごとゼロカーボン市民会議の流れ

第1回 8月21日

- ・オリエンテーション
- ・参加者交流
- ・地球温暖化について

第2回 9月25日

- ・商品選択を通してゼロカーボンを考える
- ・農・食からゼロカーボンを考える

第3回 10月23日

- ・住まいからゼロカーボンを考える
- ・エネルギーからゼロカーボンを考える

第4回 11月27日

- ・移動からゼロカーボンを考える
- ・地域での連携からゼロカーボンを考える

投票

第5回 12月18日

- ・所沢市の未来像について
- ・投票結果共有
- ・会議全体のふりかえり



2回目以降の
討論テーマを
決定

個別テーマに
ついての対話
が終了

第1回目で決めたテーマにつ
いて議論・投票に向けて自分
の考えを確立させていく

感想



次回（第3回）のご案内とお願い

マチごとゼロカーボン市民会議（第3回）

日時：10月23日 13時～17時（予定）

場所：市役所8階大会議室

**内容：住まいからゼロカーボンを考える
エネルギーからゼロカーボンを考える**



[お願い]

- お手元のアンケートにご記入をお願いいたします。
- クオカードをお受け取りの上、受領書にサインをお願い致します。